

中野区立第二中学校学校だより

若葉 第175号



平成28年6月20日

平成28年度第3号  
発行者：校長 池田浩二  
広報委員会

## 学校行事での小中連携

校長 池田浩二

6月4日（土）、本校三大行事のひとつ運動会が無事終了しました。3年生を中心とした実行委員や応援団の活躍、そして生徒一人一人の頑張りに大きな手ごたえを感じることができた運動会でした。

今年の運動会では、新たな試みとして小学生の参加種目「パン食い競争」を取り入れました。近隣の小学校との連携についてはたびたびお知らせしているところですが、学校行事でも小中連携を行おうという目的で、中野本郷小学校、桃園小学校、向台小学校の5・6年生に呼びかけました。運動会当日は運動会を見に来ていた低学年の子供たちも含めた60人以上の小学生が、「パン食い競争」に歓声をあげてくれました。

今の子供たちにとって「パン食い競争」はほとんどが初めての経験で、「手で取っていいの」「パンを取ったらその場で食べるの」「落っこちたパンも口で取るの」など、素朴でかわいらしい質問が飛び交っていました。

二中学生は以前から中野本郷小の運動会、桃園小PTAのももそのまつりや向台小のホームカミングデーなどにボランティアなどで参加していました。今年度も本校の運動会に先駆けて行われた中野本郷小の運動会には18名のボランティアが参加させていただきましたし、昨年の向台小ホームカミングデーには20人が参加していました。小学生にとってはつい最近まで同じ小学校に通っていた先輩がちょっと大人びて見える瞬間であり、中学生にとっても母校の小学校に出かけていくのは少し誇らしい部分もあって、なかなかいい経験だと思っています。こんな部分からも小中連携の輪を広げていこうと思っています。



小学生種目「パン食い競争」



中野本郷小・ボランティア

## ❀ 第70回運動会 ❀

平成28年度 第70回運動会が6月4日（土）に行われました。2週間前から始まった練習は、雨による予定変更もありましたがほぼ順調に進み、当日を迎えることができました。

今年のスローガンが「意気衝天」に決まり、目標に向かって集中し、協力したり叱咤激励したりし



ながらお互いの力を高めていく姿は見ていて気持ちの良いものでした。

今年の夏にはブラジルのリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック大会が開催されます。開会式では「リオに負けない意気

込みで力いっぱい競技に臨みます。」と代表生徒から選手宣誓されました。

今年はアリーナが工事中のため色別応援合戦は応援リーダー中心の演技になりました。縦割りで構成された応援団は3週間前から準備に取りかかりました。放課後は毎日3年の教室に集合し、音楽に合わせてダンスをしたり、かけ声や隊形移動の工夫をしたりしてそれぞれの色のオリジナル演技を作り上げました。伝統の『若い力』やエール交換と新しい演技が融合し、新鮮さを感じました。



二中運動会の特色の一つとも言える「かけ声ランニング」は、全校生徒のかけ声が一つになった瞬間、見ている私たちに鳥肌が立つほどでした。3年生のかけ声に合わせて2年生も1年生も精一杯声を出し、全校生徒252人が一体となったのです。

色別応援合戦や応援パネルもそれぞれが工夫を凝らし甲乙つけがたい仕上がりでした。すべてにおいて下級生を引っ張ってきた上級生は立派で、すべての活動が伝統として根付いていることに誇りを感じます。全校生徒が全力で取り組んだ運動会。声援に支えられて活躍する中学生の素晴らしい姿が見られた一日でした。

## ❀ 教育実習生が来ました ❀

5月23日（月）～6月11日（土）までの3週間、2人の教育実習生が来ました。

1人は、美術科で東京造形大学の中山竜輔先生。クラスは1年B組を担当しました。もう1人は、英語科で明治学院大学の西山貴大先生。クラスは2年B組を担当しました。

最初は、「何をしたらよいか？」わからずに戸惑っていましたが、朝学活や給食指導、帰り学活など、担任としての連絡や指導をするにつれて、日に日に生徒との距離が縮まっていきました。運動会の練習回りから中山先生は、美術科として『応援パネル』の指導に入り、専門的なアドバイスをしていま

した。また、サッカー部の部活指導も行いました。

西山先生は音楽に興味があり、吹奏楽部の活動に参加しました。

2人は道德の授業を始め、専門教科の授業を行いました。研究授業では、中山先生は1年B組の『自画像』を描く授業、西山先生は2年B組の『接続詞 That, 日本とギリシャのジェスチャーの違い』と、それぞれが3週間学んだことを生かした内容での授業を行い、無事に終えることができました。

実習後、感想を聞いてみると2人とも、「教師に就きたい」という話でした。

第二中学校での経験を生かして、是非、将来、教師として活躍できることを期待しています。

## ❁ 第1回進路説明会 ❁

6月11日（土）に3年生と保護者を対象に 第1回進路説明会 を行いました。

最初に、学校長から推薦基準について、次の5つの観点から話がありました。

- ① 学校生活のルールを守ることができること
- ② 学習に意欲的に真剣に取り組んでいること
- ③ 学校内外の諸活動にも積極的に取り組んでいること
- ④ 欠席や遅刻、早退が少なく、基本的な生活習慣が確立していること
- ⑤ 高等学校の示す推薦基準を満たしていること



その後、進路指導主任から本校の【進路指導の目的】等について、次の3つについて話がありました。

- ① 進路の意義を理解し、自ら選択できる力を養うこと
- ② 自分自身を見つめ、自らを成長させる力を養うこと
- ③ 自分自身の責任で進路を選択すると共に、周囲のアドバイスに耳を傾けること

進学するには、基礎学力を基本に、確かな実力の定着が行われていないと厳しいのが現状です。自分の進路を見据えて、学習や諸活動をスタートしている生徒は良いのですが、真剣に取り組む姿勢に切り替えられていない生徒については、これからの第1回定期考査から夏休みの取り組みと学習計画をどう取り組めばよいのかについて話をしました。予習→授業→復習の形を習慣化させ、当たり前のことを確実にこなしていくことが今まで以上に求められていきます。また、これから模擬試験の情報や高校のオープンキャンパスなどの情報も出てきます。それらを積極的に収集し、見通しを持ちながら受験に向かっていくことが大切です。

生徒自身が自己の実力と適性を把握し進路を選択をしていくためには、学校と生徒、親と子がしっかりとコミュニケーションをとることが不可欠です。ご家庭での支援をよろしくお願いいたします。



## ✿ 桃園神明小交流会 ✿

### 「桃園小ひまわり学級・神明小神明学級・二中Ⅰ組交流会」

6月10日（金）に桃園小のひまわり学級と中野神明小の神明学級との交流会がありました。



特別支援学級は小学校との交流を長年続けてきており、お互いの学校の事を知る大切な機会となっています。二中Ⅰ組に進学する際には安心してスムーズに進学できる生徒が増えたように感じています。



第一部は、自己紹介とレクリエーションを行いました。レクリエーションは、ジェスチャーゲームと色ひっくり返しゲームをしました。小学生と中学生が一緒になって活動する姿を見ると、改めてこの行事の必要性を感じることができました。第二部では席順をランダムに振り分けて、一緒にカレーライスを食べながら楽しいひと時を過ごすことができました。

中学生は会場準備や司会の練習、始めの言葉や終わりの言葉の練習、暗記など、会を楽しむための準備と中学生として手本になる用意をすることができました。これからも交流会が良いものになっていけばいいなと思っています。

## ✿ 卒業生のお話を聞く会 ✿

6月9日（土）に、3年生を対象に「卒業生のお話を聞く会」を行いました。参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

今回は、都立高校に通う3年生2人と、私立高校に通う2年生1人をお招きし、高校生活や受験期のお話を聞くことができました。高校での勉強や部活動、校則や学食の話など、生徒には興味のある話ばかりで、生徒たちは手元にあるメモ用紙にたくさん書き込んでいました。受験の話になると、高校生活のお話を聞いている羨ましそうな顔とは異なり、真剣な表情となって話を聞いていました。生徒自身の現状と重なる部分も多かったのではないのでしょうか。今回の話をきっかけに、受験の先にある「高校生活」について考える機会が増えればと思います。



これから、生徒たちは自分の進路について考える時期に入ります。そのような中で、やはり実際の高校生から聞く話というのは、生徒たちにとってはより身近であり、なおかつ刺激に富んだものだったと思います。今回のような会以外にも、オープンキャンパスや、高校によっては体験授業を開催しているところもあります。受験生活は、ペンとノートと参考書だけで乗り切れるものではありません。ぜひ、いろんな場面で高校生活について考え、受験を乗り越えて欲しいと思います。

## ✿特別支援教育の取り組み✿ 「副籍交流」について

先日行われた運動会では、練習の時から各学級に1組の生徒が入って学年種目や応援を一緒に行い、支え合いながら共に勝利を目指すことができました。「社会には様々な立場や考えの違う人がいて当たり前である」ということは、実際の共同活動の中で体験として学んでいくことで、真に理解できるのだろうと思います。さて、本校では東京都の制度導入に合わせ、「副籍交流」を行っています。これは特別支援学校に在籍する生徒が、住んでいる地域の指定中学校にも籍をもつことです。今年度は中野特別支援学校の1年生2名、2年生2名、計4名の生徒が二中に副籍をおいています。交流の内容としては、①学校便りや各学年の学年だより、行事案内等の送付交換、②生徒作品の展示などを行っています。昨年度の3月にも校内に作品展示を行い、多くの生徒が鑑賞しました。副籍制度が目指すものは「共生地域の実現」。それは『障害のある人とない人が交流を通じて相互理解を図り、互いに支え合いながら共に暮らす地域社会を目指すこと』で、東京都教育委員会が独自に用いる用語となっています。近い将来、その実現の担い手となるのは地域の子どもたちですから、人間同士の相互理解や思いやりの気持ちを大切にできる人格を育てるために、今年も実施していきます。



### ☆学校情報配信メール テストメールについて☆

多くの保護者に登録していただいている学校情報配信メールについて、テストメールを次のように定期的に配信することにしました。各月の1日の19時に配信します。次は7月1日19時の配信になります。登録しているにもかかわらず、テストメールが配信されない場合は、副校長までご連絡ください。